

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
経済学	4年次	必修	講義	2単位（30時間）	市村二三代 ※
授 業 概 要					
<p>『経済学』を勉強すると「何か得してお金が貯まるの？」と考える方もいらっしゃるかもしれませんが。確かに経済学は、人や組織が市場でモノやお金を交換しあう活動をモデル化し、その仕組みを分析する目的があります。それとともに私たちの身近な社会生活で経済活動がどのように営まれ、生活にどのように影響を及ぼしているか、またどのような改善をすれば豊かな生活がおくれるのかというヒントを与えてくれる学問です。こうした経済学的な思考方法やバランス感覚を理解することは、物事を論理的に考える際にも役に立つことでしょう。</p> <p>当経済学は、教科書を中心に、身近な時事問題を取り上げ、経済の仕組みや私たちへの生活への影響を解説します。また、SDG' Sのワークを通じて、新しい経済の視点も学びます。</p>					
到 達 目 標					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 経済学を学ぶことの重要性、意義を認識する。 2. 経済の基礎理論を学習し、身の回りの経済活動や企業活動を簡潔に説明することができる。 3. 経済ニュースに関心を持ち、生活にどのような影響があるか考察する。 4. 新しい時代に生きるための経済学的視点を学び、豊かな人生を送るための考察をする。 					
実務経験のある教員					
市村二三代：税理士としての税務、会計指導の経験を踏まえ、社会生活において経済の知識がどのように役立つかを理解できるよう指導する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1	経済学の考え方	経済学を学ぶ意義。			市村二三代 ※
2	ミクロ経済の基礎（1）	需要と供給			
3	ミクロ経済の基礎（2）	企業行動とマーケット			
4	マクロ経済の基礎（1）	国民所得とGDP			
5	マクロ経済の基礎（2）	政府と財政			
6	会計の基礎（1）	取引の記帳と複式簿記			
7	会計の基礎（2）	業種別財務分析			
8	契約と登記	社会生活の中の契約・登記			
9	SDG' S	食の視点から考えるSDG' S (ワークショップ)			
10	税制の基礎（1）	消費税、所得税、法人税			
11	税制の基礎（2）	源泉徴収票の見方			
12	金融の基礎	金融の役割			
13	労務、社会保障	働き方改革と社会保障			
14	フィナンシャルプランニング	家族のあり方と家計			
15	経済学のまとめ	講義の振り返り			
学 習 方 法					
授業には積極的に参加すること。授業後半の振り返りシートの提出。					
評 価 方 法					
〔評価方法〕 ◇授業中に行う振り返りシートをもって評価する。◇科目修了試験は行わない。					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
【図解】 大学4年間の経済学が10時間でざっと学べる (株)KADOKAWA 定価 925円+税 ISBN-13 978-4046017543					